MAKE A SPLASH!

パートナーシップ インパクト・レポート 2024–2025

© UNICEF/UNI768410/Ayenson

MAKE A SPLASH! | LIXIL IN PARTNERSHIP WITH unicef

※ユニセフは特定の企業やブランド、製品やサービスを推奨していません。

MAKE A SPLASH!
パートナーシップ インパクト・レポート 2024–2025

本報告書は、LIXILとユニセフ（国際連合児童基金）によるパートナーシップ「MAKE A SPLASH!（以下、MaS!）」の第3フェーズにおける、2024年4月から2025年3月までの12か月間の活動成果を、対象国であるエチオピア、インド、インドネシア、ケニア、ナイジェリア、タンザニアの６か国ごとにまとめたものです。[1]

この期間、このパートナーシップでは、以下に示す衛生市場の強化に向けた5つのアプローチを通じた取り組みを実施しました。これにより、**72万7,000人が少なくとも基本的な衛生設備（トイレ）[2]に直接的[3]にアクセスできるようになり、さらに間接的には206万1,000人が恩恵を享受しました。また、76万人が基本的な手洗い設備[4]を利用できるようになりました。**

「MAKE A SPLASH!」は引き続き、市場主導型のアプローチを通じて、衛生環境へのアクセス改善において大きな進展をみせています。この成功の要因としては、既存プログラムの活用や官民のステークホルダー間のパートナーシップ構築、ユーザーのニーズに応える多様な製品提供、そして改善されたモニタリングシステムの導入などが挙げられます。本パートナーシップは、これらの要素を基盤とし、複数の市場における金融サービスへのアクセス向上や、都市部と農村部の両方で市場の分断を軽減するといった課題に今後も取り組んでいきます。

© UNICEF/India/2023

オリッサ州の職人ラクシュミさんは、MaS!パートナーシップを通じて、活動の幅を広げています。

1　資金利用は2024年4月18日開始。ナイロビでの第1回目の会議後、現地事務所では8月第1週または第2週に利用開始。

2　「少なくとも基本的な衛生設備」とは、他の世帯と共有していない改善された基本的な衛生設備（トイレ）を利用できることを指す。

3　「直接」的介入とは、ユニセフの支援のうち、通常は実施パートナーを通じて、衛生設備を利用できる人の数を直接的に増加させるものを指し、「間接」的介入には、国のデータシステムの強化や国内資源の動員、民間サービス提供者の正式な採用、組織的な説明責任の強化といったユニセフによるシステム強化活動を含めたものを指す。

4　「基本的な手洗い設備」とは、水と石けんが利用可能な手洗い場のことを指す。

衛生市場強化に向けた5つのアプローチ

政策・制度面での環境整備

市場への参入や拡大の障壁を減らす、またはなくし、顧客と企業の双方にとって商取引を容易にするような、好ましいビジネス環境を創出することは政府の責任です。MaS!の活動には、政府が政策や戦略を策定すること、意思決定に役立つ関連データを収集すること、重要な政府機能を遂行するための能力を構築することを支援することが含まれます。この1年間で政府が市場主導型の衛生事業を推進・規制できるよう、**28件の国および地方の政策手段が新たに策定**されました。

需要創出

消費者自身が自分の衛生設備に投資する意欲と動機を持つことが重要です。MaS!では、市場の活性化やラジオでの広報活動、地域での交流などを実施しています。この1年間で、本取り組みを通じて**800万人に情報等を発信**しました。

資金調達等支援

貧しい世帯にとっての費用面での障壁を克服するために、様々な消費者向け資金調達の選択肢が必要です。MaS!は、金融機関との連携による衛生設備へのローン提供などを推進。この1年間で、家庭や事業者向けに**総額100万米ドルの金融支援**が実施され、また、衛生改善のための**政府予算として600万米ドルが割り当て**られました。

サプライチェーンの構築

都市から農村・僻地まで、手頃な価格で入手しやすい衛生製品配送網を構築することが不可欠です。MaS!は、ワン・ストップ・ショップの設立や流通業者・販売員の能力強化支援を実施。この1年間で、**200もの地域企業が製品デモや研修支援を受けました。**

販売状況の管理

市場主導型の衛生設備活動のパフォーマンスに関するフィードバックとして、衛生製品およびサービスの販売を追跡することが重要です。

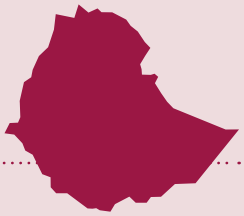
昨年は、**約11万の衛生製品およびサービスが販売・提供**され、そのうち8万8,000以上がSATO製品でした。

MaS!パートナーシップが2018年に開始されて以来、1,630万人[5]の衛生環境の改善に貢献しました。

5　MaS!を締結した2018年から2023年の5年間で、本パートナーシップがどれほど多くの人々に貢献したか、その詳細については「2018-2023年 MAKE A SPLASH! パートナーシップ報告書（要約版）5年間の活動から得た衛生市場強化に向けた教訓」を参照。

※この文書に掲載されている地図は実際の縮尺に従っていません。また、国や地域、国境の法的地位について、ユニセフとしての立場を反映するものではありません。

エチオピア



2024–2025 主な成果

政策・制度面での環境整備

「国家安全衛生管理プロトコル（National Safely Managed Sanitation Protocol）」や「TSEDU-Clean Ethiopia 2030」イニシアチブを支援するための認証・検証ツールの開発を含む、**2件の政策策定支援を実施**

需要創出

地域の市場における需要創出キャンペーン、戸別訪問による動員、学校訪問等を通じて、**126,000人の人々の需要を創出**

サプライチェーンの構築

市場主導型の**衛生事業24件の起業・活性化支援**

販売状況の管理

SATO製品1万2,000台を含む、**2万9,000台の衛生製品の販売**、2万2,000台のトイレ設置を通じて、11万人が少なくとも基本的な衛生設備に直接的なアクセスを得るのに貢献

© UNICEF/UNI784791

© UNICEF/UNI560538/Singh

インド

2024–2025 主な成果

政策・制度面での環境整備

オリッサ州における、安全に管理された衛生設備（トイレ）に関する「Vision 2047」の策定およびビハール州におけるトイレクリニック運営ガイドラインの作成を含む、**7つの政策手段を支援**

需要創出

自助グループや若者向けキャンペーン、村・集落での議論などを通じて、オリッサ州やビハール州の**130万人の人々に向け、衛生に関する情報を発信**

販売状況の管理

オリッサ州で545台、また、ビハール州では**816台**のSATO製品およびその他の製品391台が販売。この取り組みにより、4万4,000人が基本的な衛生設備への直接的なアクセスを獲得

資金調達等支援

住宅用トイレ建設のため、**22万7,000米ドル**の政府予算が活用。さらに**52万9,000米ドル**の政府予算が追加され、衛生改善のため活用

インドネシア

2024–2025 主な成果

政策・制度面での環境整備

国政府および地方政府レベルの衛生ロードマップの策定を含む、

11の衛生政策手段を支援

需要創出

テキストメッセージ・メディア連携により

50万人へ情報提供

販売状況の管理

SATO製品1,000台含む

2,100台の衛生製品を通じて、6万6,000人が少なくとも基本的な衛生設備にアクセスできるようになったことへ直接的に貢献

資金調達等支援

家庭・企業向け金融支援

54.3万米ドル、

政府予算

480万米ドルが活用

ケニア

2024–2025 主な成果

政策・制度面での環境整備

「ケニア農村部・衛生規約 (Kenya Rural Sanitation and Hygiene Protocol)」、「ケニア農村部 有償衛生ロードマップ2023-2030 (Costed Kenya Rural Sanitation and Hygiene Roadmap 2023-2030)」、「学校におけるWASH戦略2024-2029 (WASH in Schools Strategy 2024 –2029)」の承認や施行、普及を含め、**7件の政策手段を支援**

サプライチェーンの構築

5カ所の

ワン・ストップ・ショップが設立され、新たに133の小売業者と流通業者が研修を受講

販売状況の管理

1万5,000台のSATO製品およびその他の衛生製品が販売され、約8万8,000人が少なくとも基本的な衛生設備にアクセスできるようになったことへ直接的に貢献。加えて、4万台のSATO Tapを通じて、20万人に基本的な手洗い設備へのアクセスを提供

資金調達等支援

15の金融機関との連携を通じて

13万4,000米ドル

の家庭や事業者向けの融資が促進され、

政府予算**75万2,000米ドル**

が衛生分野に活用

需要創出

9つの郡において、

マスメディアや戸別訪問キャンペーンを通じて

330万人に情報発信

©UNICEF Kenya

ナイジェリア

2024–2025 主な成果

需要創出

マスメディアやコミュニティへの働きかけを通じて、**236万人に衛生に関する情報を発信**

サプライチェーンの構築

40のトイレ事業者が研修を受講し、5つのビジネスモデルを強化

販売状況の管理

4,800台のSATO製品が販売され、9,000台の改善された衛生設備（トイレ）の設置に貢献し、17万3,000人が少なくとも基本的な衛生設備にアクセスできるようになったことへ直接的に支援

© UNICEF/UNI768450/Ayenson

資金調達等支援

3,500世帯が様々な仕組みを通じて**11万6,000米ドル**の融資を利用できるよう支援を受け、政府予算9,800米ドルが衛生分野に活用

タンザニア

2024–2025 主な成果

政策・制度面での環境整備

水省によって**1件の政策手段が支援**され、民間セクターの参画を改善し、革新的な資金調達の選択肢を促進するための、WASH分野における民間セクター連携ガイドラインが最終化

需要創出

ンジョンベ州とムベヤ州において、コミュニティ主導型の包括的な衛生（Community -Led Total Sanitation）アプローチと市場主導型の衛生活動を組み合わせた「コミュニティ衛生改善活動（Community Action for Total Sanitation）」アプローチによる需要創出の取り組みを通じて、**50万人に情報発信**

販売状況の管理

2,000台のSATO Panが販売された一方、政府による市場主導型の衛生活動により、プログラム対象地域外における1万5,000台のSATO製品の追加販売につながり、24万6,000人が少なくとも基本的な衛生設備にアクセスできるようになったことへ直接的に貢献

© UNICEF/UNI539827